第13回総務経済常任委員会会議記録

開閉会日時	令和８年11月６日（金曜）　　午前９時30分　開会			
	休　憩　9：52-9：53　10：03-10：04　10:15-16　10:35-10:45			
	10:47-10:47　10:59-10:59			
	午前11時32分　閉会			
	休憩時間：０時間13分　　会議時間：１時34分			
会議場所	役場３階委員会室			
出席委員氏名	委員長　木村　淳彦	委　員　伊藤　稔		
	副委員長　堀切　忠	委　員　菊池　秀明		
	委　員　正村紀美子	委　員　鈴木　健充		
	委　員　早苗　豊		議　長　梶澤　幸治	
説明員	農林課長	髙橋　力	都市経営課長	橋本　直樹
	農畜産振興係長	高瀬　義則	都市経営課長補佐	佐藤　史彦
	農畜産振興係	河合　夏妃	都市経営係主査	山田　大樹
	農林企画係長	大浦　啓介	商工労政課参事	齋藤　和也
	総務課長	佐々木　快治	工業労政係主査	仲野　裕司
	総務係長	森　敏也		
参考人				
欠席委員氏名				
事務局職員	議会事務局長　石田　哲	総務係主査　大石真澄		

『会議に付した事件と会議結果など』

１　開　会

委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

２　議　件

（１）調査事項

ア　芽室町酪農・肉用牛生産近代化計画書（案）について　資料 1-1、1-2

・農林課長：概要について説明。

・農畜産振興係長：資料について説明。

・委員長：質疑はないか。

・正村委員：酪農家戸数が減少する中、乳用牛の飼養頭数と生乳生産量を増加させる目標を、どのように実現するのか。

・農畜産振興係長：１戸当たりの飼養頭数と乳量の増加を見込んでいる。

・菊池委員：スマート農業機器は多額の投資を要するが、労働時間や収益面の導入効果をどう検証するのか。

・農畜産振興係長：補助事業を活用するとともに、JA と連携し、労働時間の削減など

の導入効果を検証する。
・早苗委員：本計画や第6期総合計画を踏まえ、酪農基盤整備構想をいつ見直すのか。
・農林課長：本計画を基礎に第6期総合計画との整合を図り、酪農基盤整備構想を近く見直す

イ　職員の給与改正等について　資料２
・総務課長：概要について説明。
・総務係長：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・正村委員：給与改定が、町の人材確保や職員定着に関する課題の改善にどうつながるのか。
・総務課長：現状では、採用の応募者は多く、途中退職も少ないが、就職先選択に影響するため他自治体との給与均衡は必要である。
・正村委員：国家公務員や近隣自治体と比べ、町の給与水準にはどの程度の差があるのか。
・総務課長：町のラスパイレス指数は97.6で推移しており、近隣自治体と比べて大きな差はない。
・正村委員：今回の給与改定により、人件費はどの程度増加する見込みか。
・総務係長：病院を含む全会計への影響額は、約1億円と見込んでいる。
・正村委員：今年度だけでなく来年度以降も人件費が増加するが、その財源をどう確保するのか。
・総務課長：当初予算や補正予算の編成時に、財政担当部局と財源を含めて協議し、議会へ提案する。
・正村委員：人件費増加に対応するため、総務費の中で経費削減などを行う考えはあるのか。
・総務課長：給与は国に準拠して改定する一方、次年度以降は職員数を抑制し、人件費全体を抑える考えである。

ウ　都市計画法の規定に基づく地区計画の決定について　資料3-1～3-3
・都市経営課長：事業概要について説明。
・都市経営係主査：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・菊池委員：対象区域は農地に隣接しているが、土地利用との整合や周辺の営農環境への影響をどう検討したのか。
・農林企画係長：農業者へのアンケートを実施し、関係部署と情報共有しながら実施計画の作成を進めている。
・菊池委員：企業立地が進むことで、周辺農地への土地利用転換圧力が高まる可能性をどう考えるか。

・農林企画係長：環境、周辺農地、土地改良施設への影響を関係機関と協議し、影響がないことを確認している。
・堀切委員：物流拠点として大型車両の通行が見込まれるが、幹線道路をどのように整備するのか。
・都市経営係主査：区域西側の町道伏古６線を整備中であり、区域内道路も大型車両を考慮した幅員で設計する。

エ　地域集会施設再整備計画の見直しについて　資料４
・都市経営課長：事業概要について説明。
・都市経営課長補佐：資料について説明。
・委員長：質疑はないか。
・正村委員：市街地の施設を「居住地を限定しないコミュニティー施設」とする考え方を具体的に伺う。
・都市経営課長補佐：特定地域の住民に限定せず、町内外の多様な団体などが利用できる公民館的な施設を想定している。
・正村委員：市街地施設が町の直営などに移行する中、既存の運営委員会と町との関係をどう整理するのか。
・都市経営課長補佐：農村地区は地域管理を継続するが、市街地は既に直営、民間委託となり、管理上の関係はない。
・正村委員：町内外の幅広い利用を認める場合、施設使用料をどのように設定するのか。
・都市経営課長補佐：全庁的な使用料見直しの中で、営利目的の利用を認めるかどうかも含めて検討する。
・正村委員：施設の稼働率に応じ、業務委託や指定管理などの運営手法を変える考えはあるのか。
・都市経営課長補佐：現時点では決めていない。来年度は業務委託を基本とし、指定管理は時間をかけて検討する。
・菊池委員：人口減少や高齢化が進む中、農村地区 20 施設を維持する根拠と町の支援方針を伺う。
・都市経営課長補佐：代替施設がなく、避難場所の役割もあるため維持する。将来の管理支援は現時点で未検討である。
・鈴木委員：市街地の 4～5 施設には、南地区や東芽室など、既に整備された施設も含まれるのか。
・都市経営課長補佐：南地区や東芽室など、比較的新しく耐震性のある既存施設を含めて 4～5 施設とする。
・鈴木委員：地域を限定しない施設とする場合、町内のどこに配置するかをどのように決めるのか。
・都市経営課長：人口や利用実態、既存公共施設との補完関係を考慮し、地域と協議してバランスよく配置する。
・堀切委員：市街地の施設数を 4～5 施設とした具体的な根拠を伺う。

・都市経営課長：人口動向、利用実態に加え、中央公民館やめむろーどなどの補完機能を考慮して判断した。
・堀切委員：施設数の根拠を確認するため、施設ごとの稼働率を委員会へ示すことは可能か。
・都市経営課長補佐：全施設の稼働率を把握しており、委員会へ資料を提供することは可能である。
・堀切委員：施設全体の稼働率が低い中、今後目標とする稼働率を定めているのか。
・都市経営課長補佐：明確な目標値はないが、最も高い南地区の 15.7%程度を一つの目安としたい。
・堀切委員：地域集会施設は避難所にも指定されているが、その防災機能をどのように評価しているのか。
・都市経営課長補佐：耐震性のない施設を地震時の避難先とすることには課題があり、防災担当と指定を見直している。
・堀切委員：施設の統廃合によって地域コミュニティーがさらに衰退する可能性を検証したのか。
・都市経営課長補佐：数値による検証はしていないが、既存公共施設や新たな拠点施設で機能を補完できると考える。
・堀切委員：方針が大きく変わったが、これまで各地域と行ってきた協議を白紙に戻すのか。
・都市経営課長補佐：新たな方針により従来の協議内容は見直すこととなるため、その旨を地域へ説明する。
・堀切委員：地域協議をどのように進め、いつまでに合意形成を図る予定なのか。
・都市経営課長補佐：年内から町内会を中心に説明を始め、未来ミーティングなども活用して協議を進める。
・堀切委員：地域から施設の存続や増設を求める意見が出た場合、4～5 施設という方針を変更するのか。
・都市経営課長補佐：町として 4～5 施設を基本に説明するが、地域の事情や意見は協議の中で丁寧に聞く。
・正村委員：町内会に加入していない住民に対し、いつ、どのように情報提供と意見聴取を行うのか。
・都市経営課長補佐：全戸へ案内し、誰でも参加できる住民説明会を複数回開催する方法を検討している。
・正村委員：市街地だけでなく、農村地区の住民にも新たな方針を説明する必要があるのではないか。
・都市経営課長補佐：今回の見直しによる影響が大きい市街地を優先して、説明と協議を進める。

・委員長：本日の調査事項について自由討議を行う。「ア」について意見はないか。
（なし）

・委員長：調査事項「イ」について意見はないか。
（なし）
・委員長：調査事項「ウ」について意見はないか。
（なし）
・委員長：調査事項「エ」について意見はないか。
・堀切委員：従来から方針が大きく変わったため、地域協議や施設の利用実態を引き続き調査すべきである。
・委員長：他に意見はないか。
（なし）
・委員長：今後の具体的な調査方法については、自由討議の意見を踏まえて正副委員長で整理することとする。異議ないか。
（異議なし）
・委員長：異議なしと認め、決定する。

（2）調査事項
ア　令和8年度総務経済常任委員会の抽出事業について
・副委員長：資料について説明。
・委員長：本日の調査内容も踏まえ、意見や修正すべき点はないか。
・伊藤委員：委員会が町長へ提出した要望書を受け、町が具体的な方向性を示そうとしていると感じた。
・委員長：意見として受け止める。他に意見はないか。
（なし）
・委員長：正副委員長案を基本とし、本日の調査で示された町の方針変更を達成状況に追記する。最終的な文案の整理を正副委員長に一任することでよいか。
（異議なし）
・委員長：異議なしと認め、決定する。

3　その他
（1）次回委員会の開催日程について
令和8年11月17日（火）合同委員会終了後

（2）その他
・委員長：商工会との意見交換会についてのまとめを正副委員長から説明する。
・副委員長：資料について説明。
・委員長：報告内容や委員会の対応について、意見はないか。
（なし）
・委員長：意見交換会のまとめは正副委員長案のとおりとし、軽微な修正を一任してよいか。
（異議なし）

・委員長：異議なしと認め、決定する。

・委員長：他に委員からないか。
（なし）
・委員長：議長からないか。
（なし）
・委員長：事務局からないか。
（なし）

以上をもって、総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	０名	報道関係者	０名	議　員	０名	合計	０名

令和８年１１月６日

総務経済常任委員会委員長

議　長	副議長	局　長	係　長	主　査	作成者氏名
					大石　真澄